

# アスベスト禍

# 45年後のがん

危険性も、45年後に労災認定が可能であることも知らなかった。船員には、胸が悪くなったら石綿を疑った方がいい、と訴えた」と話している。

【大島秀利】

盗難車を確認中はねられ死亡

岸和田で主婦 巡査も軽傷

## 社保庁 元船員、異例の認定

1950年代に蒸気貨物船の機関員をしていた元大手海運会社員、笠原昭雄さん(71)は広島市南区に、当時の作業でアスベスト(石綿)を吸引したため胸部がんの「中皮腫」3面に「がん」になったとして、社保庁東京社会保険事務局が労災認定したことが19日、分かった。船員が

19日午前5時25分ごろ、大阪府岸和田市八幡町の府道で、放置されていた盗難車両を確認中の同府高石市綾園6、主婦、

中皮腫で労災認定されるのは極めて異例。発症が遅い中皮腫患者は、今後さまざまな産業分野で急増するとみられ、離職後の検診体制の整備なども課題になりそうだ。

多量に含むセメントでボイラーなどを固定し、蒸気パイプにも石綿を使ったテープが巻かれていた。これらの補修作業で、石綿の粉じんが舞う環境だった。

中皮腫と診断された。膜中皮腫と診断された。船員保険に加入しており、社保庁に昨年11月、労災認定を求めている。笠原さんは「石綿の職場に移ったが、02年

離職後検診充実を人間の研究組織「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」代表の名取雄司医師の話 発症が遅い中皮腫は退職前には見つ

かりにくい。今後、建設や車などの製造業でも中皮腫が次々発見される可能性があり、関係職場は離職後の検診体制を整備する必要がある。

千葉県警生活経済課は19日、「ルイ・ヴィトン」など有名ブランド店が商品を入れる紙袋を加工し、「オリジナルバッグ」としてインターネットで不正に販売していたとして、和歌山県串本町、バッグ製造会社役員、和田守容疑者(40)を商標法違反(商標権侵害)容疑で逮捕した。ブランド商品の紙袋などのリメイク品をめぐって商標権侵害で逮捕したのは初。

調べでは、和田容疑者は昨年末から今年2月ごろにかけ、ル社などのロゴ入り紙袋を自社工場加工、1個1万5000円から3万円ですべて5人に販売した疑い。

和田容疑者は紙袋の表面をビニールコーティング

## あなただけのヴィトン

### ブランド紙袋をリメイク 商標権侵害容疑で初逮捕

グしたり、内部に補強材を入れて丈夫にし、インターネット上で「世界で、あなただけのバッグを」などとPRして注文を受け付けていた。同課はこれまでに数百人に販売したほか、会社ぐるみで不正をしていたとみて追及している。

ここ数年、自分で紙袋を持ち込んでくる依頼主の希望に合わせ「一点物」として作り直す業者が全国的に登場しているが、今回のケースは、不特定多数への販売を目的に、紙袋を集めて加工していた点が悪質として、逮捕に踏み切った。

リメイク品をめぐっては富山県警が99年、ブランド品の包装用リボンを携帯電話ストラップに加工、販売していた業者を同法違反容疑で書類送検したケースがある。

# 45年後のがん 労災認定

社保庁  
事務局

## 石綿吸引 広島 の元船員

二〇〇二年にがんの一種、悪性胸膜中皮腫を発病した元船員笠原昭雄さん（七〇）広島市西区古江西町Ⅱが、四十五年以上前の作業でアスベスト（石綿）を吸引したのが原因として、社会保険庁が二十日までに、分かつ

た。

笠原さんは一九五一年から約六年間、蒸気貨物船の機関員として石綿を含むセメントで固定されたボイラーのある燃焼室で働いた。補修作業では、石綿の粉じんが舞う状態だったという。

その後は石綿がある環境からは離れたが、〇二年十一月、広島市民病院（広島市中区）で石綿による悪性胸膜中皮腫と診断された。〇三年十一月に船員保険法に基づく傷病手当金を請求、三月末に認められた。

笠原さんは四回の入院を繰り返して、二十日か

装飾板が死角拡大と認定

フロントガラスに「装飾板」をつけたトラックを運転、母子をはねて死傷させたとして、業務上過失致死傷罪に問われた運転手青木謙二被告（四七）に、横浜地裁川崎支部は二十日、装飾板が死角を広げていたと認定、禁固二年（求刑禁固三年）を言い渡した。

栗田健一裁判官は判決理由で「前方注視を怠ったほか、装飾板を付け、安全に対する配慮を欠いた」と指摘した。

らホスピスで療養を始め、「自己症状がなく、検査するまで気付かなかった。当時の同僚たちも病院に行ってほしい」と訴えている。

を公  
念さ  
は五百  
―六百  
人に輪  
が広

